

## ZIP 圧縮 設定

### 【ZIP圧縮 01】

《本文》シート《添付用ZIPファイル設定》の《フォルダ参照》ボタンから、送信処理中に作成するZIPファイルの保存位置を指定します。  
ファイルは送信が終わっても指定位置に残ります。再送信、または別件で使用する際にご利用ください。

#### 添付用ZIPファイル設定

この名前でZIPファイルを作成する（フルパス）

C:\zip¥

[▲ページの先頭へ](#) [●マニュアルに戻る](#)

### 【ZIP圧縮 02】

保存するフォルダまでしか選択できませんので、続けてZIPファイル名を入力してください。  
今回の場合、「C:\zip¥」まで入力されていますので、「C:\zip¥圧縮[宛名][番号].zip」にします。  
置き換えをどこかで使用してください。そうしないと、後で生成されたZIPが優先され、はじめに作られた同じ名前のZIPファイルが消えてしまいます。

#### 添付用ZIPファイル設定

この名前でZIPファイルを作成する（フルパス）

C:\zip¥圧縮[宛名][番号].zip

[▲ページの先頭へ](#) [●マニュアルに戻る](#)

### 【ZIP圧縮 03】

ZIPとしてまとめるファイルまたはフォルダの選択をします。  
10個まで、ファイルまたはフォルダが指定できます。  
ご利用のサーバの上限値を参考にして添付の設定をしてってください。入力の仕方は通常の添付ファイルと同じです。

添付用ZIPファイル設定		フォルダ参照
この名前でZIPファイルを作成する（フルパス）		
C:\zip¥圧縮[宛名][番号].zip		
格納ファイル追加		格納フォルダ
ZIPファイルに 以下のファイルを格納する（フルパス）		
1	C:\work¥html¥info.html	
2	C:\work¥資料	
3	C:\dividpdf¥sample01_[宛名].pdf	

[▲ページの先頭へ](#) [●マニュアルに戻る](#)

### 【ZIP圧縮 04】

《送信リスト》シートで、パスワードの設定を行います。この設定がされていない場合、《送信リスト》シートで《ZIPファイルのパスワード》が《付加する》になっていてもパスワードを付加することができません。パスワードは、安全のため暗号化されたものがシート上に書き込まれます。

セルに直接入力するだけだと、暗号化がされないの  
で、ZIPファイルにパスワードが正しく設定できません。

※ ただし、暗号化された文字列はコピーや貼り付け  
が可能です。

